

本資料配布先:

京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

NEWS RELEASE



学校法人 立命館

2023. 4. 11 <計2枚>

報道関係者 各位

学校法人立命館広報課

立命館大学大阪いばらきキャンパスに警備ロボットを本格導入 ■建物内を警備ロボットが自動巡回し警備を実施■ ～キャンパス警備 DX をさらに推進～

学校法人立命館は、大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)にて、SEQSENSE(シークセンス)社製の自律移動型警備ロボット「SQ-2(エスキューツー)」を国内の大学で初めて導入いたしました。

立命館では、2019年3月に人とロボットが協働する Society5.0 時代の施設運営管理モデルの構築に向けた「戦略的 DX パートナーシップ協定」を三菱地所株式会社と締結し、さまざまなロボットを稼働させる実証実験をキャンパス内で行ってきました。

今回は、三菱地所株式会社の知見も参考に、警備ロボットを活用した学校施設の管理効率化の実現に向けた取り組みとして、大阪いばらきキャンパスでの導入に至りました。2021年4月から段階的にSQ-2を稼働させ、2023年3月にエレベーターと連携が実現。自動でフロア間の移動が可能となり、本格的な導入となりました。

立命館では今後も未来社会の創造に向けた最先端テクノロジーの活用や情報発信を進め、人とロボットが共存する持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【導入概要】

1. 機種:SQ-2 1台
2. 用途:警備
3. 導入キャンパス:大阪いばらきキャンパス
(大阪府茨木市岩倉町 2-150)

【SQ-2 について】

<主な仕様>

- ・重量:65 kg
- ・サイズ:129.5×51×50.6 cm
- ・連続稼働時間:最大 10 時間(実稼働 6 時間)

<主な特徴>

- ・足回りの面積が小さいため、人込みや狭い通路等での機動性が高い。
- ・独自の 3D LiDAR により、高度な自律移動性能を有している。
- ・遠隔でリアルタイムでのロボット操作・監視が可能である。
- ・360 度カメラにより、一度に広範囲にわたる映像監視が可能である。



▲自律移動型警備ロボット「SQ-2」

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300

別紙

【自律移動型警備ロボット SQ-2 概要】

SEQSENSE 社の SQ-2(エスキューツ)は、3次元センサ技術・自己位置推定アルゴリズム・リアルタイム経路計画アルゴリズムなど高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型の警備ロボットです。人材不足が深刻な警備業界において、各種警備業務労力削減を実現します。

独自の 3D LiDAR を搭載し、広視野角を実現し、警備対象物件の詳細な 3 次元マッピング、障害物や歩行者をはじめとした移動物体の発見、環境の変化検出を行うことが可能です。また自社開発のクラウドシステム「SQ-Guard」との連携により警備拠点から遠隔で各種警備業務(巡回業務、立哨業務、動哨業務)を行うことができます。



【遂行可能な業務】

<巡回警備>

予め決められた巡回ポイントを自律的に移動し、監視・点検業務を行う。巡回中はロボット正面のカメラにより映像を防災センターにリアルタイムで配信する。巡回ポイントでは写真を撮影し、警備員は巡回終了後に保存された写真を確認し、異常がないかどうかを確認することができる。

<立哨業務>

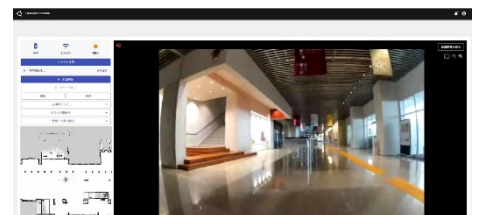
警備ポイントに立って監視業務を行う。周囲 360 度を映し出すカメラを搭載しており、警備拠点の遠隔操作モニターよりロボット周辺をリアルタイムで監視可能。また、通話インターフェースにより、ロボットを介して現場からの問い合わせにも対応可能。

<動哨業務>

クラウドシステム「SQ-Guard」より、地図上の任意の地点を指定することで、ロボットが当該地点まで自律的に移動可能。立哨業務中に不審物を発見したり、けが人を発見した場合に、遠隔でロボットを移動させて確認したり、対象者へ呼びかけを行うこともできる。



▲巡回中に AED 点検を行う SQ-2



▲クラウドシステム「SQ-Guard」操作画面